

会議報告書

あしたの会自然の家 施設長

令和 7年 6月 26日

会議名	報告者	施設長	主任	主任
地域連携推進会議	大場			
実施日時	令和 7年 6月 26日 10時30分～12時00分	場所	自然の家 会議室	参加者
議題	内容要旨・決定事項・報告事項・職員会等への提案事項など			
施設長より	1名欠席。 ・制度的に位置づけられた。県によると様々な福祉サービスが増え、支援の質が課題であると言われている。障害者が地域で生活するにあたり施設の支援力が必要で、施設は外部との関わりが少ないため、このような会議を年1回行うことが必須となった旨の説明があった。			
自己紹介	自己紹介を行った。 障害者関係協会役員A、学識経験者B、保護者会 C、利用者代理 D、施設長、主任、サービス管理責任者 ・プロジェクターを使用し、自然の家の施設概要を説明。資料参照。			
施設説明	B 保護者に施設立ち上げの話を聞く研修をしてみてもいいのではないか A 施設を中心的に作ったのは柚木先生。保護者の気持ちを汲んで親の会を立ち上げた。当初は、入所施設を作るつもりはなかった。諸外国で施設を廃止している時代で、GHを建設していくことが進められていた。しかし、保護者の強い願いにより入所施設を建設。施設のサービスは、オールインワン（すべての事がそろっている。）柚木先生はすべての人たちが安心して生活できる空間を作るのが大切と思って建設を決意した。			
意見交換				

	<p>B 若い職員に柚木先生の『地域で生きる』を読んでもらってはどうか C どんどん保護者が高齢化になっていっている。</p> <p>A 先進国で長期の精神的入院は日本のみ。開所当初と変わっていない部分はいいのだが、変わっていくことも大切なので職員で話し合い良い施設を作って言って欲しい。次の事も考えていかないといけない。</p> <p>B GH で高齢になり自然の家へ移行した方はみえるかとの質問があった。</p> <p>施設長 そういう方はいない。介護施設に移行された方はみえる。</p> <p>A 商品などが売れないのなら、班を縮小していくことも考えなくてはいけない。買い物や地域に行く利用者はどれくらいいるかとの質問があった。地域清掃などで拾いなども昔やっていたが、今はどうか？</p> <p>施設長 地域清掃は行っていない。月に1・2度買い物へ行く。個別外出を行っている。そのような取り組みは続けて言って欲しい。家庭的な取り組みは大切。</p> <p>A 職員定数は足りているのか。</p> <p>永友 マイナス1名で支援を行っている。</p> <p>A 今後、施設をどのようにしていくかを考えて行かないといけない。現状課題が必要。風通しを良くする。第三者が見ていい施設にする必要がある。保護者でも施設をしっかり見たことがないので見れると嬉しい。</p> <p>A 災害訓練で地域の人と連携しているか？何か起こった（災害）時のために地域の人と連携できると良い。</p> <p>施設長 高齢化が進んでいること、高齢化の方、強度行動障害の方、様々な支援を考えていかなくてはいけない。しかしながら、年齢を重ねてきたことによる事故やヒヤリハットの報告内容も変化が出てきていると説明した。</p> <p>事故報告の変化 件数を報告した。 内容を見ていくと、ふらつきにより転倒が多くなっている。見守りだでは追いつかなくなっている部分もあるが、職員の意識も変えていく必要がある。</p> <p>施設見学 施設内の見学をおこなった</p>
--	--